

西部小の子等に生きる力を！



正月、あるテレビ番組で、日本の古木・大樹を取り扱うものが放映されていました。その中には、川棚の大楠（山口県）と武雄の大楠（佐賀県）も紹介されていました。心に残る内容でしたので、お裾分けを。

まず、川棚の大楠。樹齢は 1,000 年以上とされ、戦国時代の武将にまつわる伝承も残る古木です。しかし、その古木が、数年前に一気に枯れ始め、正に枯れ木状態に。原因は特定できてはいないようですが、一説には、公園化のため盛り土をしたことで四方に張り巡っている根が、土の厚みで酸欠を起こしたのではとも…。その後、酸欠を解消すべく竹の筒を地中に打ち込み、酸素が地中にも届く応急措置を。地元の方も関係者も、祈るような気持ちで見守る中、その古木は、幹から芽を出し、息を吹き返しつつあるとのこと。その生命力には唯々驚くばかり。



また、武雄の大楠は、川棚の大楠を遥かに凌駕する樹齢 3,000 年。何と紀元前から人々の営みを観てきたのでしょう。この大なる生命力に圧倒されると同時に、子供達には、どんな荒波にも負けない強い躰と精神力を付けてあげなければならないと思う初春の良き日でした。

愛校バザー！

去る 26 日（日）、毎年恒例の愛校バザーが開催され、PTA 役員の皆様のご協力を得て、盛大なものとなりました。

体育館に行くと、会員の皆様から頂いた善意の品がズラリと並びその様は壮観でした。また、屋台風の店もあり、飛ぶように売れる品々、熱気溢れる空間に心地よい時間が流れていきました。バザーの収益は、今後、子供達の教育環境を良くするために活用させて頂くこととなりますが、参加して頂いた、大人も子供も笑顔だったことが何よりの宝物となりました。

事前計画から、前日の準備、本番当日まで、大活躍頂いた PTA 役員の皆様、本当にお疲れ様でした。そして、有り難うございました。



【*）】
地

昨年末から今年にかけて、西部小の子どもたちのために…ということで、二つの寄付を戴きました。西部小愛は、こんな形でも現れているのですね。本当に有り難いことです。

一つ目の寄付は、12 月に発行した学校だよりでも紹介した顕微鏡等です。今回の寄付は、地元、原ノ町鉄工（株）からの本の寄贈です。1月16日（木）に、贈呈式を開き、式の中には、児童代表（図書委員会の部長さん、副部長さん）の御礼の言葉も。このご厚意に感謝しながら、沢山の本に触れ、読書の世界に浸り、心を豊かにして欲しいと願っています。



